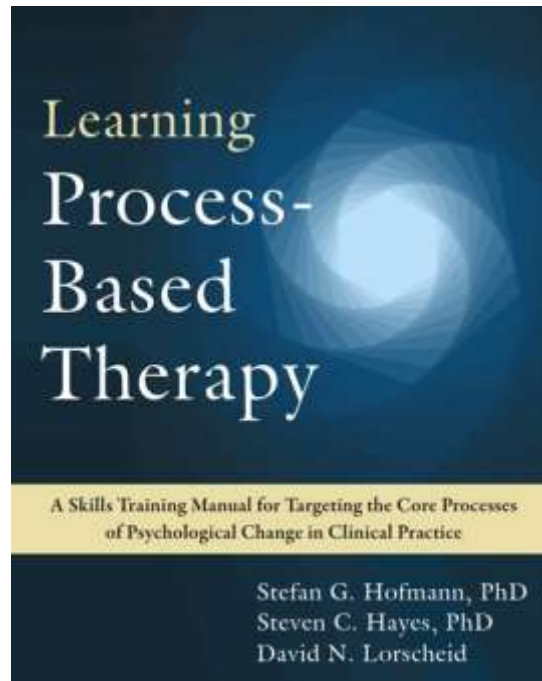


障害者雇用支援従事者に対する EEMMグリッド面談の実践

- 三國 史佳（株式会社スタートライン 障害者雇用支援事業 東日本本部 サポーター）
- 刎田 文記（株式会社スタートライン CBSヒューマンサポート研究所 主幹主任研究員）
- 菊池 ゆう子（株式会社スタートライン CBSヒューマンサポート研究所 支援スーパーバイザー）
- 豊崎 美樹（株式会社スタートライン CBSヒューマンサポート研究所 支援スーパーバイザー）

<はじめに> PBTとは



- Process-based Therapy
(プロセスベースドセラピー) の略称
- 診断名・病理名ではなく当事者個人に対し
多層的かつ多面的にアプローチする心理療法

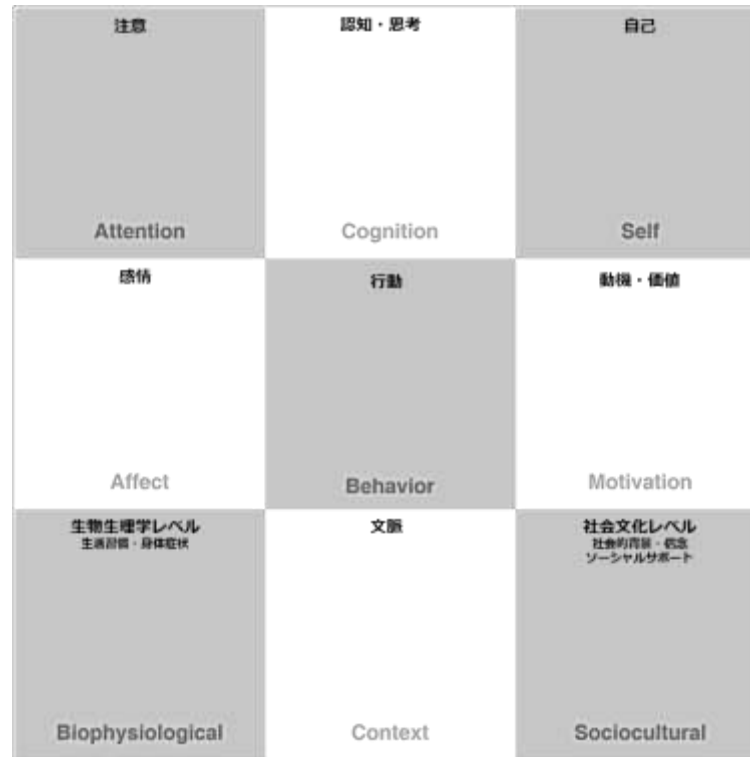
<はじめに> EEMMとは



図3.2 拡張進化型メタモデル
(copyright: Steven C. Hayes and Stefan G. Hofmann)

- Extended Evolutionary Meta-Model
(拡張進化論メタモデル) の略称
- 当事者の多面的・多階層的なプロセスを整理するためにEEMMが用いられている

<はじめに> EEMMグリッドとは



- ・ EEMMを実際の対人援助場面で実践できるように開発されたツール
- ・ 面談における言動や履歴を分類し、
病的なプロセス（不適応）と健康的なプロセス（適応）の分析する

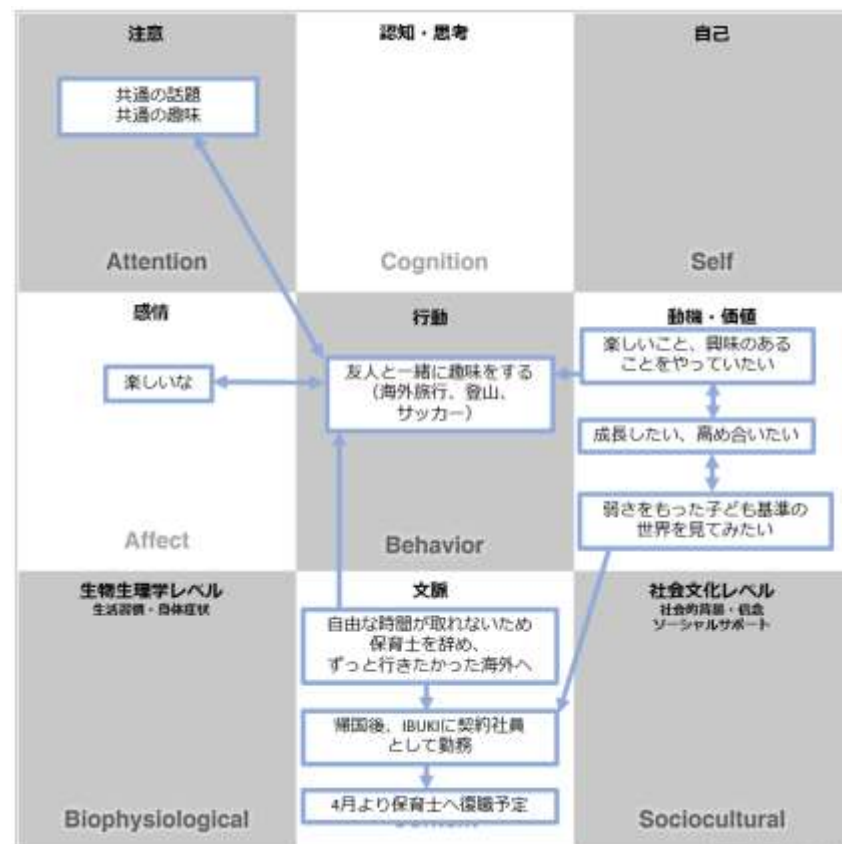
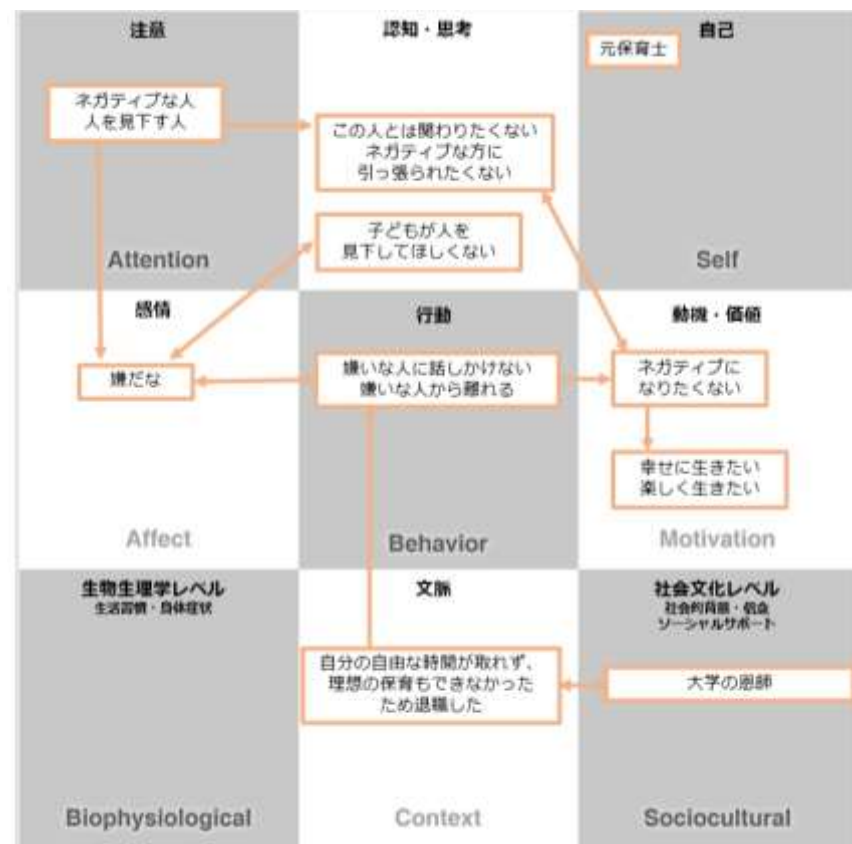
<実施概要>

大分類	小分類	詳細
対象者（Aさん）	年齢	20代
	手帳	未所持
	性格	真面目、明るい、ポジティブ
面談方法	場所	IBUKI内の面談室
	所要時間	約90分（60分＋30分；計2回のEEMMグリッド面談実施）
	面談方法	・当研究所で作成したEEMMグリッド面談用紙（A3用紙／横に2つのEEMMグリッドを配置）を使用 ・面談前に面談用紙を印刷し、今のAさんの思考やそれに係るエピソードについてヒアリングを実施 ・上記内容を9つのグリッドに分類して記載
	効果指標	MPFI（多次元的心理的柔軟性尺度）を面談前後に実施

<面談状況> ネットワークモデル

不適応スタイル

適応スタイル

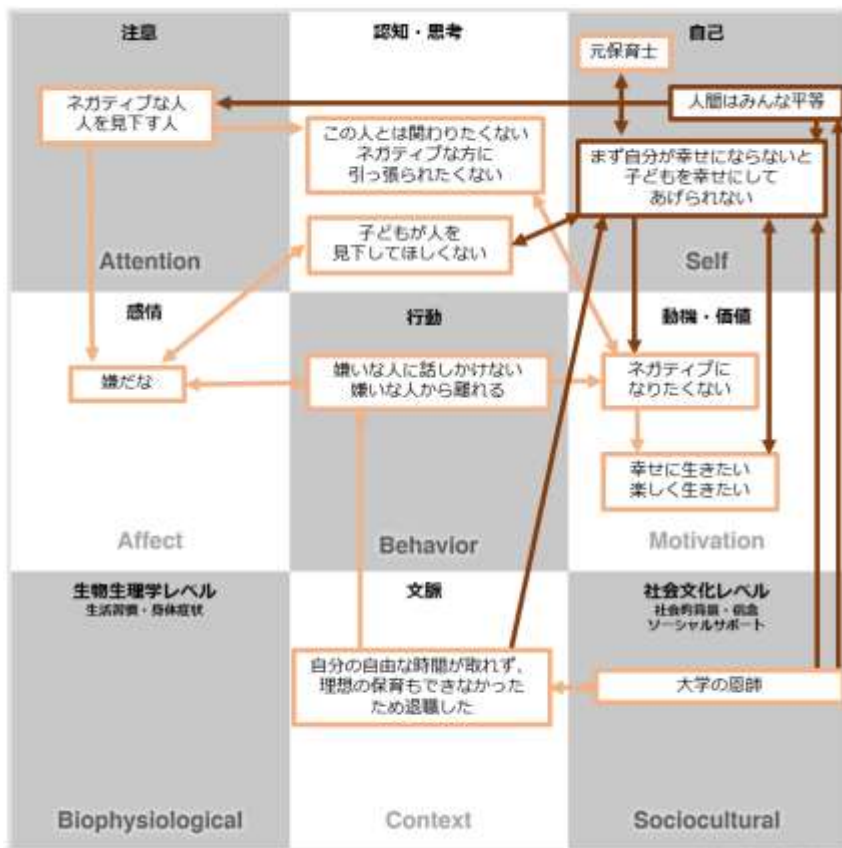


Aさんは嫌いな人に話しかけたくない、関わりたくないという思考や行動が負のスタックループを起こしていた。

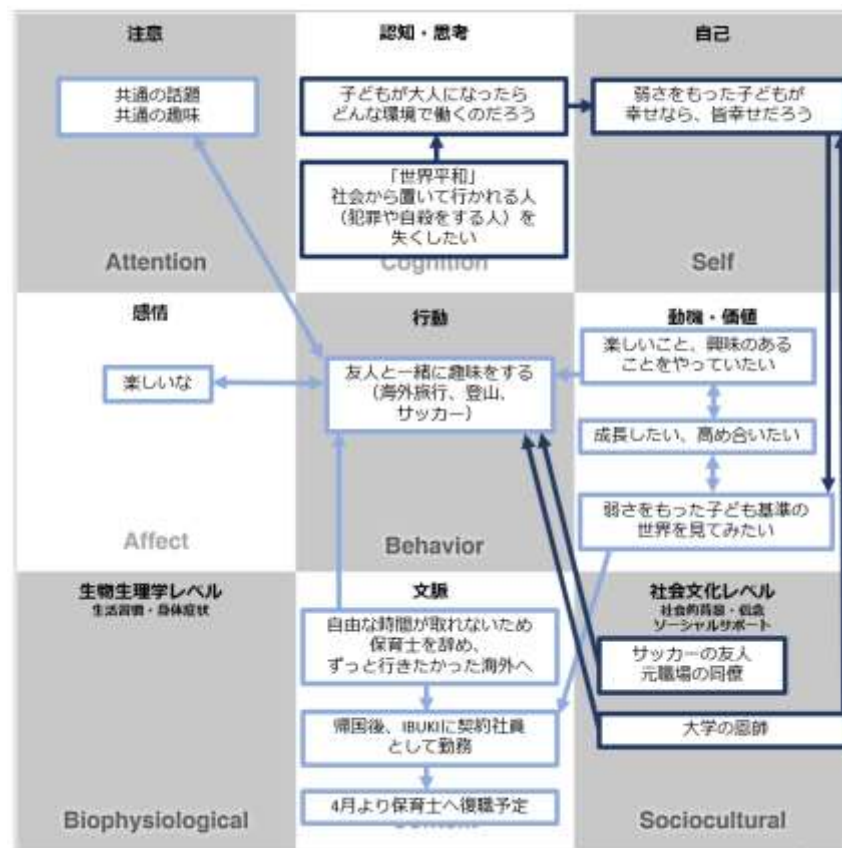
面談を通じてAさんは自己ルールが存在や大切な人の存在に気づくことができた。

<結果> ネットワークモデル

不適応スタイル



適応スタイル

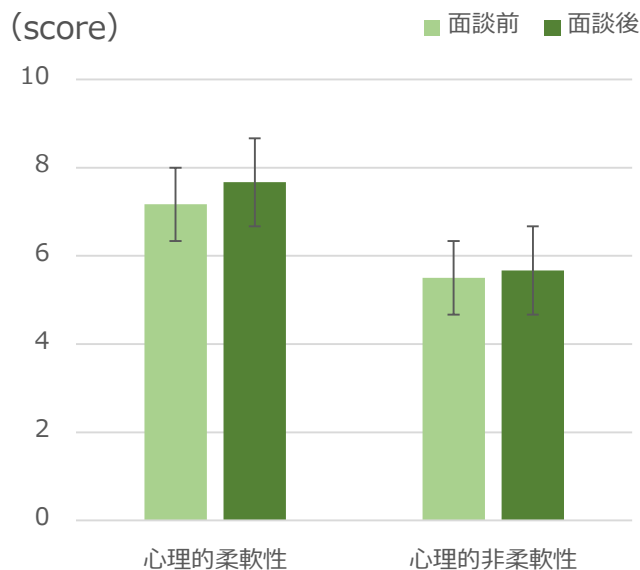


問題の整理と分析を実施し、以下が確認された。

- ・ 行動や思考には強い**自己ルール**が関わっている
- ・ 自己ルールには**大学の恩師**の存在が強く影響している

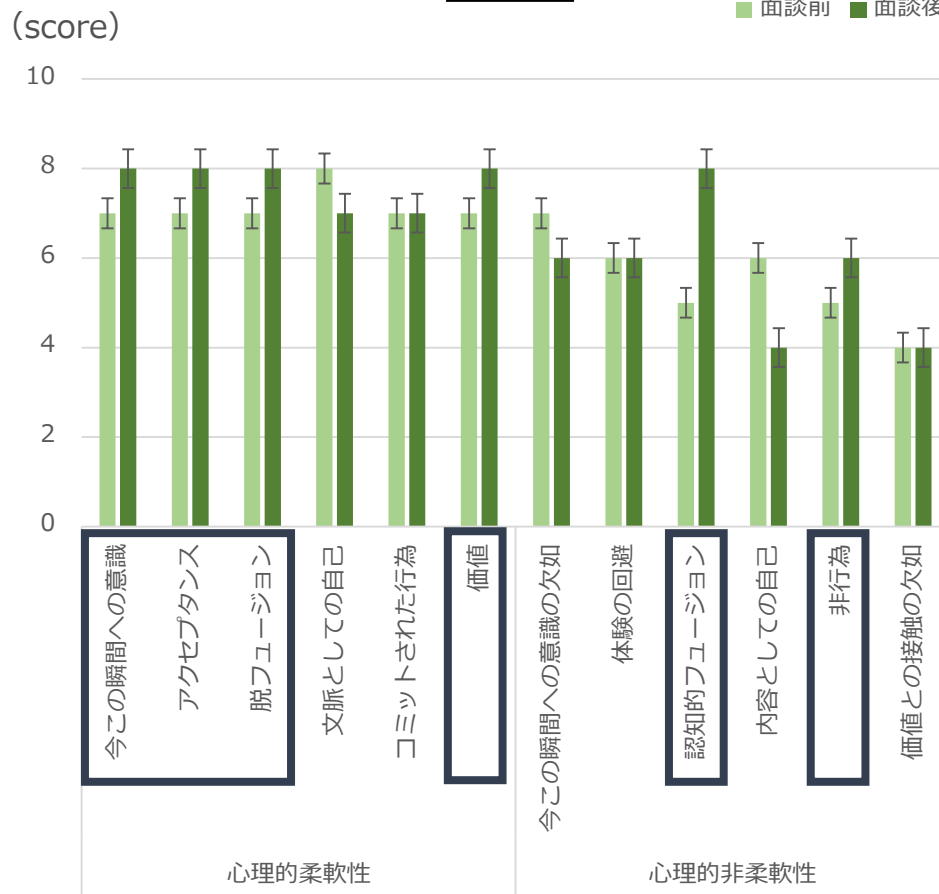
<結果> MPFI

平均



平均	面談前	面談後	増減
心理的柔軟性	7.16	7.66	↑
心理的非柔軟性	5.50	5.66	↑

詳細



心理的柔軟性と心理的非柔軟性、どちらも**増加**が見られた

<考察>

	Aさんの思考
面談前	自分是对人関係に課題があるため、退職など逃げる道を選択し続けている
面談後	なぜ上記のような選択をするか思考の整理ができた (強い自己ルールと、大切な人との関わりがあることに気づいた)

	結果	考察
面談後	心理的柔軟性↑	・自身の 価値が明確 になり、「自分がやりたいことは今の仕事ではない」と考えた可能性があると推測される
	心理的非柔軟性↑	・自身の価値が明確になったことで、新たなルールが生成され「私はもっとこうしたら良いのではないか」と考えることが増え、認知的フュージョンの値も上昇したと考えられる ・上記を踏まえ「価値が明確になったが、価値に沿った行動がとれていない」と考えたことで、非行動の値も増加した可能性がある (現在は契約満了後に保育士の仕事に再度就いているが、これはEEMMグリッドでご自身の価値が明確になった結果と考えられる)

<展望>

Aさんは自己ルールに囚われる傾向が高いと考えられるため、
今後施策導入をする場合は、不適応スタイルの状態になっている際に
価値に向かう行動を定期的を確認していただくことや、
ACT導入による**脱フュージョン**等の考え方を取り入れることを検討する。

PBTは個人に対して多面的にアプローチできる心理療法であるため、
障害当事者に限定せず活用することが可能である。
障害の診断が下りていない方でも、心身の不調を抱え悩む場面（仕事や
家庭内トラブル、心因性の体調不良等）は存在する。
障害の有無に囚われずアプローチできるよう、支援の体系化や実践に取り
組んでいきたい。

参考文献

Hofmann, Stefan G., Steven C. Hayes, and David N. Lorscheid. *Learning process-based therapy: A skills training manual for targeting the core processes of psychological change in clinical practice*. New Harbinger Publications, 2021.